

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2022.5.1 ~ 6.30)

□研究員人事

(5月1日付)

研究補助員 (RA, 平塚らいてうプロジェクト事業)

堀内 暢行 井上 直子

(6月1日付)

研究補助員 (RA, 環境アーカイブズ)

馮 蘊妍

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』764号 (2022年6月)

『大原社会問題研究所雑誌』765号 (2022年7月)

『日本労働年鑑』第92集 (2022年版) 旬報社

□図書受入 (5月)

	和 書	洋 書	計
購 入	83	11	94
受 贈	0	9	9
合 計	83	20	103

□図書受入 (6月)

	和 書	洋 書	計
購 入	5	27	32
受 贈	74	0	74
合 計	79	27	106

□閲覧サービス (5月)

閲覧

開館日数 18日

閲覧者数 6名

貸出図書 25冊

コピーサービス

学外 7件 1,262枚

学内 0件 0枚

□閲覧サービス (6月)

閲覧

開館日数 22日

閲覧者数 23名

貸出図書 36冊

コピーサービス

学外 17件 2,027枚

学内 1件 27枚

日 誌

□5月

- 1日 事務職員の部分的テレワーク継続 (～31日)
- 11日 所員会議 (オンライン)
事務会議 (オンライン)
- 14日 社会政策学会第144回大会 (オンライン, ～15日, 参加: 布川, 鈴木, 榎, 藤原)
- 17日 大原社会政策研究会 (第94回) (オンライン)
栗原真史 (一橋大学大学院社会学研究科博士課程) 「立ち退きをめぐる概念, 方法, 調査実践——欧米圏の住宅研究・都市研究のレビュー」
- 18日 運営委員会 (オンライン)
議題①「2022年度自己点検・評価シート」,
「2022年度中期目標・年度目標達成状況報告書」の承認
②2022年度研究会, 共同研究プロジェクトの承認
③環境アーカイブズRAの採用
④嘱託研究員の承認
⑤その他
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会 (オンライン)
- 23日 地下3階書庫資料除塵・カビ除去作業 (埼玉福祉会) (～31日)
- 25日 ILO 駐日事務所と国際労働問題シンポジウム打ち合わせ (オンライン, 参加: 布川, 鈴木, 榎, 藤原)
月例研究会 (対面+オンライン)
榎一江 (専任研究員) 「所員研修: 大原社会問題研究所の歴史と未来」
- 30日 戦後失業対策事業研究会 (オンライン)
杉本弘幸 「戦後失業対策事業・失対労働者における部落問題——1950年代を中心に」
- 31日 環境アーカイブズの資料公開に関する HOSEI ミュージアムとの打ち合わせ (於: HOSEI ミュージアム, 山本, 宇野)

□6月

- 1日 事務職員の部分的テレワーク継続 (～30日)
所員会議 (オンライン)
事務会議 (オンライン)
- 2日 HOSEI ミュージアム運営委員会 (榎)

- 7日 大森義太郎資料受贈（寄贈者：大森悟氏，資料の量：段ボール5箱）
- 10日 授業：法政学への招待（於：市ヶ谷，榎）
- 14日 東芝争議資料受贈（寄贈者：本田貞氏，資料の量：段ボール小1箱）
- 15日 運営委員会（オンライン）
 議題①「法政大学大原社会問題研究所2021年度の歩み」の承認
 ②客員研究員受け入れの承認
 ③HOSEIミュージアム 来年度のテーマ展示について
 ④その他
- 22日 月例研究会（オンライン）
 原伸子（名誉研究員）「家族の相対的自律性と経済——ジェーン・ハンフリーズ著『イギリス産業革命期の子どもと労働——労働者の自伝から』の翻訳を終えて」
- 25日 大原社会政策研究会（第95回）（オンライン）
 朴峻喜（埼玉大学大学院人文社会科学部研究科博士後期課程）「労働組合はどのように団結するのか——2013年韓国鉄道ストの事例」
- 28日 環境アーカイブズ 地下書庫リハウジング
 対象資料：0042 東京都立多摩社会教育会館旧市民活動サービスコーナー所蔵資料（ミニコミ），委託業者：（有）東京修復保存センター
- 29日 見学：東京大学経済学部小島ゼミ（対応：榎，長島，土井，朴）

法政大学大原社会問題研究所
 2020年10月7日からの来館サービス案内（抄）
 （2022年7月1日現在）

【開館時間】〈平日〉10:00～11:30, 12:30～16:00
 必ず3日前までに来館予約してください。閲覧人数は1日3名までとなります。

【入館にあたっての注意事項】

以下のいずれかにひとつでも該当する場合は入館できません。

- ・入館当日を含め14日以内に、「発熱」「のどの痛み」「鼻水」「咳」「息苦しさや強いだるさ」「味覚障害」等の新型コロナウイルスの感染が疑われる症状がある
- ・入館当日を含め14日以内に海外への渡航歴がある
- ・新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者である

【大原社会問題研究所の感染拡大防止対策】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、当研究所では以下の通り実施しています。

- ・カウンターの飛沫防止対策（透明シート等の設置）
- ・館内に消毒液設置
- ・研究所スタッフの健康管理および業務中のマスク着用
- ・定期的な窓開け換気
- ・使用したパソコン，ロッカー，机，椅子の都度アルコール除菌

*なお、感染者発生の今後の動向および法政大学の方針により、来館サービスが中止になる可能性もありますので、ご了承ください。

【館外貸出】【非来館サービス】

通常通りに行っています。詳しくはお問い合わせください。

大原社会問題研究所雑誌

No.767・768（2022年9・10月号）

2022年10月1日発行

定価2,037円（本体1,852円+税10%）

年間購読12,000円（税込）

編集（兼）発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所長 布川日佐史

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話 042（783）2305

印刷 株式会社相模プリント

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会労働問題に関する学術研究雑誌で、「論文」「資料紹介」「調査報告」の投稿を受け付けております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。規程と要領に沿わない原稿は受理できません。[2019.10.1 改定]

投稿規程

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則 20,000 字以内（図表・スペースを含む）です。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて無記名で本文に入ってください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、次の各 3 部を下記宛てに郵送してください。
A：投稿原稿（審査用原稿）
B：投稿原稿の要旨（1,000 字程度）
C：表題紙
C の表題紙に記載する事項は、投稿原稿の、①題名、②目次、③分量（図表を除く文字数（スペースを含める））、④図表の有無と数、⑤著者の氏名（よみがなを併記）、⑥肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑦略歴、⑧連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。
7. 投稿者は、投稿原稿の郵送後、B：投稿原稿の要旨、C：表題紙を、下記宛てに電子メール（もしくは FAX）で送信してください。件名は【投稿(お名前)】としてください。

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会宛

【郵送先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所

【メールアドレス】ohara-journal@hosei.ac.jp 【FAX】042-783-2311

投稿原稿 執筆要領

1. A4 判の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワードプロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表 1】等と挿入場所を指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさで全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

【記載例】

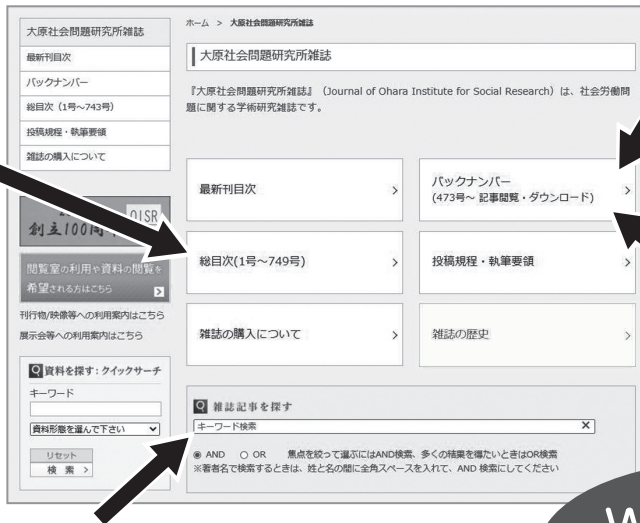
榎一江（2017）「近代日本のパターナリズムと福利施設」『大原社会問題研究所雑誌』705号、29-43 頁。

原伸子（2015）「イギリスにおける福祉改革と子どもの貧困——「第三の道」と社会的投資アプローチ」原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』大月書店。

Suzuki, Akira（2016）“Japanese Labour Unions and Nuclear Energy: A Historical Analysis of Their Ideologies and Worldviews,” *Journal of Contemporary Asia*, Vol.46, No.4, 591-613.

大原社会問題研究所雑誌

<https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/oz/>



・創刊号から
前年度までの
総目次 (PDF) を
一括しました

・バックナンバーを
探しやすい
ガイドの表記に
変更しました

・詳細目次を
一覧できるように
なりました

・ここから雑誌記事が検索でき
検索結果から当該号につながるようになりました

Webサイト
リニューアル



有斐閣 新刊案内

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17

<http://www.yuhikaku.co.jp/>

表示価格は税込

日本近代社会史

社会集団と市場から読み解く
1868-1914

松沢裕作 著

四六判 定価2640円

19世紀後半から、明治維新を挟んで、第次世界大戦の頃までの日本社会を、さまざまな社会集団が市場とどうかわつていくかに注目して描き出す。
2022年4月刊

事件から読みとく日本企業史

武田晴人 著

四六判 定価2970円

時代を映す鏡。事件を通して、政府との関係、株主との関係、取引相手との関係、従業員との関係など、企業に関わる人々や時代背景との関係から読みとく。
2022年5月刊

バブル後の金融危機対応

全軌跡
1990~2005

伊藤 修著

A5判 定価4180円

バブル崩壊以降2000年代前半にかけての金融危機に関し、銀行破綻や不良債権処理をめぐる金融行政対応を包括的に検証し、教訓を導く。
2022年8月刊

地域・都市の社会学

実感から問いを深める
理論と方法

平井太郎・松尾浩一郎・山口恵子 著

有斐閣ストウディア 定価2200円

都市問題や地域住民の課題、人と人の距離、排除や貧困など、具体的な社会問題について実際に手や足を動かして考えながら、社会学的センスを磨く。
2022年4月刊

ポリテイカル・コレクトネスからどうへ

清水晶子・ハントニヒョン・飯野由里子 著

四六判 定価1980円

SNS普及後の世界で研究者の視点はどうに活かせるのか。ジェンダーとフェミニズム、セクシュアリティとクィア、障害と社会モデル、エスニシティと社会的な望みなど、私たちが生きる現代社会の不均衡を知り、別のありかたへ。
9月6日発売

持続するフェミニズムのために

グローバルゼーションと「第二の近代」を生き抜く理論へ

江原由美子 著

A5判 予定価2860円

社会学論としてのフェミニズムは、今まで何を成し遂げ、何が課題として残っているのか。グローバルゼーションと「第二の近代」という大きな社会変動に対応する方法とは。第八者が描く次の一歩。
10月刊予定